

市川市市民文化サポーター募集!!【美術部門】

美術・音楽に興味ある方、サポーターとして一緒に活動しませんか!

募集中!!
(~8/31迄)

市川市市民文化サポーターは、「美術」「音楽」の各コースで、市川市文化振興財団と協働で文化事業を行っております。この度市民文化サポーターを大募集いたします! 以下ご確認の上、ご応募お待ちしております。

講座	内容	日程	会場	内容	講師
第1回		2021年11月8日(月) 14:00~16:00	行徳文化ホール I&I	オリエンテーション (A)市民文化サポーター活動を知る (B)市民文化サポーター活動説明 (C)市川の美術を知る	(A)小坂裕子 (B)現市民文化サポーター (C)中能淳子
第2回		2021年12月20日(月) 14:00~16:00	行徳文化ホール I&I	美術に親しむ ①平面編	浅野智
第3回		2022年1月31日(月) 14:00~16:00	行徳文化ホール I&I	美術に親しむ ②立体編	武荒信顕
第4回		2022年2月23日(水祝) 14:00~16:00	行徳文化ホール I&I	美術に親しむ ③映像編	山峰潤也
第5回		2022年3月17日(木) 13:00~16:00	行徳文化ホール I&I	(A)美術に親しむ ④現代美術編 (B)美術サポーターの夢を語りあう	(A)木村絵理子 (B)厚地美香子
第6回		2022年4月開催予定 (日時詳細未定)	千葉市美術館	展示について	森啓輔

※講師のプロフィールについては裏面をご参照ください。※第6回「展示について」は日時が決まり次第財団 HP でご案内いたします。

サポーター認定条件 ※美術・音楽両方の受講はできません

①第1回講座は必ず受講 ②全6回講座のうち、5回以上の受講

募集期間

2021年7月22日(木祝)~8月31日(火)締切

定員

50名 ※応募多数の場合は抽選

抽選結果通知

9月中旬頃、メールにてご案内いたします。

参加費

3,000円(資料代・美術館入場料/事前振込)

※抽選結果と共に支払方法をご案内いたします。

※会場迄の交通費は各自負担となります。

申込方法

(a)(b)どちらかの方法をお選び

いただき、右のQRコードを読み取り、必要事項を記入の上お申し込みください。 QRコード

(a)メール(oubo@ichikawa-bunka.or.jp)

※QRコードから進みますと、項目はすでに入力されています。
(b)Google フォーム (https://forms.gle/j1tQ9aNWD3q7rA8F9)

記載項目/①氏名(フリガナ) ②年齢 ③住所 ④電話番号

⑤メールアドレス(PDF等を受け取れるもの)

※ドメイン受信ができるように設定をお願いします。



これまでの美術サポーターの活動について ~企画事業のご紹介~

展覧会や講座・ワークショップの企画のため、毎月1回企画会議を行っております。

これまでの企画内容の詳細は、右のQRコードからご覧ください(財団公式HP文化振興活動ページ)。

●毎年開催! いちかわ街かど美術展



●講座・ワークショップ



財団HP
QRコード

【音楽コースについて】講座日程は2022年1月~6月(全6回)となります。募集期間は10月を予定しています。音楽分野にご興味ある方はこちらをご検討ください。詳細は決まり次第公式HPにアップしますのでご確認ください。

主催・問: (公財)市川市文化振興財団

TEL 047-379-5111 <https://www.tekona.net>

市川市文化会館(仮)事務所内 〒272-0023 千葉県市川市南八幡 3-12-21 MC 本八幡 5F

市川市市民文化サポーター募集講座(美術部門) 講師プロフィール



小坂裕子 〈公益財団法人市川市文化振興財団常務理事・アートディレクター〉

東京藝術大学大学院修了。大学で音楽学を教えたほか「作曲家人と作品・ショパン」などの音楽書や翻訳書を出版している。クラシックの専門家として市川市文化振興財団の自主事業企画に長年携わり、5部門から成る新人演奏家コンクールの審査員を務めている。コンクール受賞者による市内各所のホールや施設での数多くの室内楽コンサートの企画もしている。2006年からの「市民文化サポーター養成講座と認証制度」に当初より関わる。サポーター制度による市民協働事業と新人育成活用事業の連携を図り、音楽サポーター企画コンサートにコンクール受賞者を選定推薦している。



中能淳子 〈市川市 文化スポーツ部 文化芸術課 主幹(学芸員)〉

1990年市川市役所入庁。教育委員会、市長部局にて文化行政に携わる。教育委員会では重要文化財 法華経寺 祖師堂の改修工事や発掘調査等を担当。市長部局では、「市川の文化人展」、「収蔵作品展」などの展覧会や市にゆかりのある芸術、文学資料等の調査や資料整理を担当。2020年には、市内八幡を終焉の地とした文豪 永井荷風の書齋を市役所新庁舎 1階に移築、再現。没後60年を経て今日まで、遺族により保存された荷風の唯一、現存する書齋を、市の文化資産として後世に継承する。



浅野智 〈画家/NPO法人 withART 代表・放送大学 千葉学習センター 講師〉

神奈川県生まれ

1993年 東京藝術大学修士課程美術研究科絵画専攻(油画)修了

主な展覧会 活動歴

2000年 第11回 関口芸術基金賞 優秀賞 2001年 第12回 関口芸術基金賞 大賞 2001年 G-ART GALLERY(東京)

2001年 ギャラリーアートサロン川(千葉) 2003年 ギャラリーアートサロン川(千葉) 2004年 アートスペース(東京)

2005年 市川市文化振興財団主催 浅野智展 2011年 第29回上野の森美術大賞展 賞候補

2011年 東日本大震災復興ボランティア 仮設住宅での市民展覧会(赤い羽根共同募金 サポート事業)(福島)

2013年 市川市文化振興財団主催 浅野智展 2014年 第32回上野の森美術大賞展 賞候補

2015年 アートスペース(東京) 2016年 第1回 枕崎国際芸術賞展 協賛賞

2017年 文化庁 文化芸術推進事業 浅野智展(山梨) 2018年 市川市文化振興財団主催 浅野智展



武荒信顕 〈彫刻家〉

市川に生まれ育ち、現在に至ります。この講座では、立体編として、彫刻、工芸、野外作品、インスタレーションなど、立体造形を紹介します。皆様、美術に興味をお持ちであると思いますが、更に、美術を深く知りたい、と思える講座に致します。

私の作品は、彫刻ですが、彫ったり削ったりしません。金属を接合して制作しています。野外作品が好き、その魅力は「場」の不確定性、無常の世界と向かい合う事が楽しいのです。野外作品は、当然ですが天候に影響されます。私の作品は、太陽を求めますが、雨を求める作家もいるのです。何が起こるか分からない、だから、野外作品は面白いのです。

タイトルを「あなたと・・・」としている作品があります。「あなた」には二つの意味があります。第一の「あなた」とは、私の妻です。身近な「あなた」の存在が、創造の原動力であり、又、共同制作者でもあるのです。「あなた」のもう一つの意味は、「わたし」の作品の前に立つ「あなた」です。私は、作品のみでは、「作品」として完成しないと考えています。全ての私の作品において、「わたし」と「あなた」が、共同作業で新たな宇宙を創造し作品を完成する、と考えています。



©Mika Kitamura

山峰潤也 〈キュレーター/一般財団法人東京アートアクセラレーション共同代表〉

1983年生まれ。東京都写真美術館、金沢21世紀美術館、水戸芸術館現代美術センターにて、キュレーターとして勤務したのち現職。主な展覧会に「ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて」、「霧の抵抗 中谷芙二子」、「恵比寿映像祭(第4回-7回)」など、国内外の展覧会のキュレーション、シンポジウムの企画、編集、執筆、講演、審査委員など幅広く活動。2020年秋に六本木にオープンした ANB Tokyo のディレクターとして務める他、「KAWS TOKYO FIRST」日本側監修(企画フジテレビ)、テレビ朝日のアート番組「アルスくん&テクネちゃん」監修など、アート事業のアドバイザー、監修、コンサルを行う。現在、国立台湾美術館にて10月より開催する展覧会の準備中。文化庁アートプラットフォーム事業委員、Tokyo Photographic Research 副代表など。



©427FOTO

木村絵理子 〈横浜美術館 主任学芸員〉

2005年展から横浜トリエンナーレに携わり、2020年展では企画統括を務める。近年の主な展覧会企画に、「HANRAN: 20th-Century Japanese Photography」(National Gallery of Canada, 2019)、「昭和の肖像: 写真でたどる『昭和』の人と歴史」(2017)、「BODY/PLAY/POLITICS」(2016)、「蔡國強: 帰去来」(2015)、「奈良美智: 君や 僕に ちょっと似ている」展(2012)、「高嶺格: とおくてよくみえない」展(2011)、「東芋: 断面の世代」展(2009-10)ほか。この他、關渡ビエンナーレ・ゲストキュレーター(2008、台北)、釜山 Sea Art Festival コミッショナー(2011)など。



厚地美香子 〈アートプロデュース 認定 NPO 法人あっちこっち 理事長〉

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科卒業後、20年間クラシック音楽コンサート・マネジメント会社(KAJIMOTO・旧梶本音楽事務所)に勤務。アーティスト・マネージャー、コンサート・音楽祭の企画・制作・運営、営業、広報など幅広いマネジメント業務に関わりながら同時に、国内外の素晴らしいアーティストから音楽について多くを学ぶ。2011年東日本大震災をきっかけに音楽・アート・ダンスなどの芸術で社会貢献を考える NPO 法人あっちこっち設立、理事長を務める。プロデューサーとして芸術での交流に重きを置くコンサートやワークショップなど制作を行い、若手芸術家支援、芸術での国際社会貢献事業も手がける。東京藝術大学、青山学院大学、慶應義塾大学などでアートマネジメントなどに関する講義を担当。認定 NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク第6期評価委員、2019年より市川市文化振興財団専門員。



森啓輔 〈千葉県美術館 学芸員〉

1978年三重県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻修了。専門は日本近現代美術、美術批評。高松次郎、もの派を中心とした1960-70年代の美術動向の研究と並行して、絵画、彫刻に関する現代美術作家の展覧会を企画・担当。主な展覧会に「イケムラレイコ PLOON」(ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2014年)、「菅木志雄」(同、2014-2015年)、「クリスティアーネ・レーア 宙をつつむ」(同、2015年)、「生きとし生けるもの」(同、2016年)、「日高理恵子 空と樹と」(同、2017年)、「須田悦弘 ミテクレマチス」(同、2018年)、「宮島達男 クロニクル 1995-2020」(千葉県美術館、2020年)など。

著書に『Jiro Takamatsu Critical Archive』(共著[vol.4]、コミコチパアソシエイツ、2012年)。